

「社会保障と税の一体改悪」 何としても阻止へ

4月18日の国会要請行動、24日の千駄ヶ谷駅前署名宣伝行動、そして5月10日代々木駅の大宣伝行動は18人で、ティッシュに入

ったのはがき署名を300個全てを渡し切りしました。行動を重ねるごとに、病院がやっていると、アピールを強調したいとの意見も出されました。

杉並では、5月5日の原発稼働ゼロの日



代々木駅で宣伝、署名行動

「一体改革」関連法案を一括審議する特別委員会を設置することで合意しました。

これを介護保

険料や国民健康保険料の通知が届きます。値上げの通知です。いま、患者さんから悲鳴の声が寄せられています。「先日歯科と内科を受診しました。窓口負担3割の支払いでした。歯科は2800円、内科診療は1020円、薬は28日分で1500円、5320円がその日かかった医療費です。負担は大変なんです」「一体改悪」で受診するたびに一つの診療科ごとに100円の自己負担になるとか。

後期高齢者医療保険料、国保料、介護保険料の値上げなどで、6月に区から通達される支払金額を「見るのも怖い」という声も多く聞きます。

消費増税増税ストンプ！ 社会保障切り捨ての「一体改悪」阻止のため、病院、労働組合、友の会が一丸となってとりくみます。みなさんのご協力をお願いします。

私たちがこの地に診療所を開設して60年以上が過ぎました。先輩達はこの地の歴史・文化・風土を愛し、そして大切にしながら、地域の皆さんと連携し、医療・介護の基礎の築き、発展させてきました。



町会の方々と懇談

私たちは今こそ、民医連方針にある「地域丸ごと健康づくり」を大々的に打って出て、地域町会や老人会、商店会、自治体等の皆さんと連携して、共同の健康づくりを発展させていきたいと考えています。

具体的活動として、医療生協等で取り組まれている。当時、この家も

代々木病院がめざす

『地域丸ごと健康づくり』

＝地域に生きるということ＝

「コロボン体操」及び「セラバン体操」等の筋力アップ体操、囲碁や俳句、お花等の趣味を活かしたサークル活動、そして啓発活動としての「健康講座」等です。こうした活動を通して、健康づくりは勿論のこと、仲間づくりや地域の連帯が深まる事を願っています。

そして自然と地域での「支え合い」や「助けあい」が少しずつ根付いていき、優しく、あたたかい街づくりにつながることを考えています。

このような取り組みを、今後、代々木健康友の会の皆さんと共に、多くの職員の参加と英知を集めて発展、拡大させていきたいと思っています。

私が幼い頃、つくば市近くの田舎の町にはまだ乞食、物乞いと云われる人たちがいた。きたないボロを纏い、擦り切れた袋を肩から下げて、家々を毎日廻っては物乞いをしていた。当時、この家も

待合室

友の会の役員を20年にわたって担ってきた顧問の阿久澤信子さんが、有料老人ホームに入所することになりました。相模原のご自宅での生活は、視力の衰えと歩行の不自由さとともにない、一人暮らしに不安を感じ入所を決心されました。

老後に思う

大切にしたい生活を私たちが一緒に過ごしてください」のキャッチフレーズの施設です。阿久澤さんのその後がうたい文句にあるような、安心して、穏やかに過ごされることをた

ただただ願うだけです。あちらこちらの施設のパンフを見、施設を実際に見て切に思うのは、気軽に入れる介護施設がないということです。公設の特別介護老人ホームは待機者でいっぱいです。誰もが安心してかかれる介護保険制度には程遠いものですが、特に高齢者の一人暮らしにとって辛いものがあります。弱者を救済する国の施策が、いまこそ求められています。

福島連帯、現地視察に参加して

福島での2日間、安心、安全な町、住み続けられる町づくりの大切さを改めて思い知らされた時間でした。福島は震災の被害よりも、原発事故による放射能被害が深刻でした。



検問体制の30km圏

なくそう「孤立死」

地域で見守り活動を

「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」をめざす代々木健康友の会は、病院の職員とともに一昨年、昨年と熱中症の予防で独居高齢者の高年齢居の高齢者宅や気になる患者さん宅への訪問活動を行ってきました。渋谷区には熱中症対策や「救

急医療情報キット」の導入を要望しました。昨年7月からは、高齢者が気軽に交流できる居場所づくりとして、急医療情報キットの導入を要望しました。昨年7月からは、高齢者が気軽に交流できる居場所づくりとして、急医療情報キットの導入を要望しました。



保障推進協議会による渋谷区福祉保健部長との懇談会に参加しました。友の会のこれまでの取り組みを紹介し、区に「孤立死」の予防対策の充実を求めました。今後、行政・福祉・地域の連携による見守りのネットワークも追求していきたいと考えています。

も、福島の人々は、ふるさと再生に必死に頑張っていました。5月5日、全国の原発が停止しました。福島原発の原燃事故から学んだ日本中の原発NO！の思いの現れだと思えます。

